



綜成苑 綜愛苑 つつじが丘苑たより 苑たより

(綜成苑通所利用者)



つわぶき会カレンダー
27年1月から

http://www.tuwabuki.jp/01_02_tayori_sosei.html

＝ 年 頭 挨拶 ＝

社会福祉法人つわぶき会 理事長 岩橋 秀樹



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、当法人の運営に格別のご尽力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、法人の母体である和歌山市障害児者父母の会50周年の記念すべき節目の年でありました。

この50年は平坦なものではなく、多くの課題や困難とこれを克服する会員皆様の弛まぬ努力の積み重なったものであり深く感謝申し上げます。

現在では、障害者総合支援法が制定され、福祉サービスの整備が進む中、親及び障害者本人の高齢化や低就労率などの課題はありますが、皆様方が一生懸命頑張っていたいただいたお陰で福祉制度が充実し、つわぶき授産工場、綜成苑、綜愛苑、福祉就労センターつつじが丘苑、グループホ

ームつつしが丘、T-LABO、小倉園に加えさらに、今年は障害者の一般就労定着5年を目標にT-LABOの2階にT-JOB（就労移行事業・生活訓練事業）を開所いたします。私たちは、社会福祉法人として、地域の活性化や貢献、また、地域住民への理解を深めるための取り組みを行ないながら、変化する社会の中で存在意義を示す事業・活動を展開していくことが出来ております。

これからも、日本の社会変化により福祉サービスが低下されないよう保護者の皆様をはじめとした当事者の思いを関係機関に理解していただき、反映されるようにしていくことが大切であり、必要と考えます。

私たち職員はより一層に、障害児者の幸せを追求すると共に地域社会の信頼と尊敬を得ることに努め、亡き理事長より授かった想いと自分の生涯をかけ、平成27年も精進してまいりたいと考えます。会員一同つわぶき会のより良い未来のために一層ご支援・ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

綜成苑・綜愛苑 苑長 伊藤 明

明けましておめでとうございます。

皆様方には清々しく新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は苑の運営に多大のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年和歌山市障害児者父母の会が結成され50年が経ち、記念式典を初め記念事業もほぼ終了した8月に岩橋正純理事長様が逝去されるという大変悲しい出来事がありました。

故岩橋正純様のご労苦と偉大なご功績を思い浮かべつつご冥福をお祈りする次第です。

年が新たまり、私達は岩橋秀樹新理事長の下、職員一同は心新たに利用者の処遇に全力を尽くして精励する所存です。

いま、日本経済はマイナス成長の状態とされていますが、一方、輸出関連産業は好況であるとも聞きます。福祉施策は経済と密接な関係があることから今年は景気が上向きバランスのとれた景況が続くことを期待したいと思います。

近年、障害者福祉に関係する法律も段々に整備されてこれからは法の理念の実現に向けて諸施策が実施されることを確信し、障害者福祉の増進がはかられるものと期待します。

施設におきましても、利用者の皆さんが充実した苑での生活ができるように自立と社会参加を目指して、日々の活動のメニューとプログラムを用意して支援して参ります。

殊に、就労支援では働くことに喜びとやりがいを感じ得る気持ちが湧いて来るような指導と訓練を積み重ね一般就労を目標に息の長い支援を続けて参りたいと考えています。

皆様方には旧年に倍してご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

つつしが丘苑 苑長 米坂 公男

新年明けましておめでとうございます。皆様方には穏やかな新しい年の初めを迎えておられる

ことをお慶び申し上げます。

つつじが丘苑では、平成26年度これまでに4名の利用者の方が就職されました。就職先は、和歌山県、紀北支援学校、株式会社リシェスでした。

これまでも就職された元利用者が、しっかりとした顔つきで苑行事のキャンプやライオンキング観劇に参加してくれて、ワイワイとつつじの利用者と談笑するなかで、社会へ出て大きく成長した姿を見せてくれていました。利用者にとっても、遅くなった先輩を目の当たりにして、つつじの職員の言葉よりも、自らの五感で先輩の変貌を感じ取り、社会の荒波というものを想像することができる、とっても良い機会になっています。

一般就労を目指している我が子や教え子にとっては、福祉施設入所という一つ増えたチェックポイントではありますが、『長い利用者の人生を顧みても廻り道であった。』とは決して云われることのない『つつじが丘苑へ通って良かった。』と、思ってもらえる支援に取り組んで行く事と併せて、就職後の定期・不定期のフォローに努めて参ります。

そのためにも企業の採用担当者、保護者の方や支援学校の先生方からの更なる忌憚のないご意見、ご協力を頂戴致したく誌面をお借りしてお願い申し上げます。

1月の行事予定

- ☆ 4日(日) 安全祈願初詣・年始会
帰苑日
- ☆ 14日(水) グループホーム指導監査



前月の主なできごと

- ★ 8～9日 紀北支援学校生徒(1名、生活介護)授産部へ実習
- ★ 12日(金) 父母の会 行政との反省会
- ★ 16日(火) 施設内会計内部監査 綜成苑、綜愛苑、つつじが丘苑
- ★ 22日(月) 綜成苑更生部、授産部クリスマス会
- ★ 24～25日 きらめきクリスマス会
- ★ 26日(金) 年末大掃除
- ★ 27日(土) 仕事納め グループホーム大掃除



おめでとうございます

12月7日、藤田慶加さん(綜成苑保護者)が和歌山市障害者福祉表彰において、更生援護功労賞を受賞されましたのでご報告いたします。

支援員室だより

【 綜成苑 更生部 】

選手宣誓！緊張したけど
上手くて良かったかな？



11月はスポーツフェスタに、12月はクリスマス会と皆で元気に参加する事が出来ました。
来年も、いろんな行事をたのしみたいと思います。

楽しい
クリスマス会



早いもので平成26年も、もう終わり平成27年のお正月を迎えます。
皆様、本年もお世話になりました。来年も宜しくお願いします。

(綜成苑更生部支援員 坂本 京子)

【 綜愛苑 更生部 】



「ゆうあいスポーツフェスタ」が和歌山ビッグホエールにて開催され、一生懸命に頑張りました。メダルを獲れた人は満面の笑顔でとても喜ばれており、残念ながらメダルを獲れなかった人はとても悔しそうでしたが、「来年頑張る！」と次に向けて意欲を燃やしていました。



朝夕の冷え込みがひどくなりましたが、活動では多目的広場へウォーキングに行ったり、天気の悪い日には室内でレクリエーションや音楽を使った手足の体操を行ったりしています。寒さに負けないよう、皆さん熱心に体を動かしています。



(綜愛苑 更生部支援員 南條 友見)



【 きらめき 】

12月に入り街もキラキラと華やいで、クリスマスムードが溢れていますね。

きらめきでも紙皿を使ってリースを作りました。スパンコールや画用紙で綺麗に飾りつけ、それぞれに個性豊かなリースが出来ました。

皆のもとにサンタさんが幸せを運んで来てくれますように！





(綜愛苑 看護師 坂本 裕紀子)

【 綜成苑 授産部 】

新年明けましておめでとうございます

皆様方にはすがすがしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は昨年の朝礼で利用者さんに、『これから年末にかけて行われる11月の和歌山県知事選挙、12月の衆議院選挙は、今後のあなた達の針路を定める重要な選挙になります。社会保障政策や、障害者福祉政策はあなた方の将来を決める大切な公約や政策になります。お家の人や友だちと相談して各政党や候補者の訴えをしっかりと吟味した上で、投票所に足を運び大切な一票を投じて下さい。これからの皆さんは各々の地域で自分の力で生活して行くことになります。そして自分の進路は自分で決められる人になって下さい』と話したところ、衆議院選挙には半数以上の方が投票に「行きました」と、手を挙げてくれました。私たち支援員も皆さんにきちんと伝えることができれば行動で答えを出してくれることが分かり涙を抑えることができませんでした。

これからの皆さんたちに必要なことは、自分の道を自分で切り開いて行ける勇気と、どこにいても自分らしく振る舞える経験と自信が必要になります。遊びも楽しさも全部を大切にしてほしい。忙しいことや障害を理由に大切なことを犠牲にしてはいけません。皆さんが病気やケガやどのような問題に遭遇しても、あなたに夢と希望があれば前を向いて生きて行けます。どんな困難にも堂々と明るく向き合う楽しい人生に出会えるよう、毎日の授産活動を通じて自身を成長させてもらいたいと思います。



私は授産部長の職に在るうちに、皆さんの生涯に何かをしてやれる役目があるのではないかとの思いが、日々心を動かす毎日になりました。今の授産作業の中では、日々ゆっくりと取り組む環境に無いのかもしれませんが、皆さん一人ひとりに、それぞれの夢や未来があります。素直で未完成で心身の発達途上にあるがゆえに、危なっかしくも愛すべき君たち。この利用者さんたちを取りまく様々な問題は誰かのせいにして済む事ではないが、とりわけ私たち施設で従事する支援員の責任は大きいと思います。

施設と地域が大きく手を携えながら利用者さん一人ひとりが「自分」を大切にしていけるよう

に、また自分の「進路」が見つけれられるようになるために、私たち施設職員もその責任をしっかりと果たして行きたいものです

(綜成苑授産部部長 柿本 伸二)

【 つつじが丘苑 】



12月16日に和歌山市の「愛の訪問」に落合智さんが選ばれ、市長さんが訪問されました。

かなり緊張していましたが、市長さんと話も弾み、楽しいひとときを過ごしました。

(つつじが丘苑 生活支援員 宇都宮 綾子)

医務室だより =健康管理について=

肺炎って、どのような病気？

肺炎と聞くと、「風邪をこじらせたらかかる」「冬に多い病気だろう」と思われている方も多いでしょう。

しかし、肺炎は細菌やウイルスなどが、からだに入り込んで起こる肺の炎症です。

症状としては、発熱、咳や痰、息苦しさや胸の痛みなどがあげられます。

肺炎の原因となる細菌やウイルスは人のからだや日常生活の場に存在しています。

からだの抵抗力(免疫力)が弱まったときなどに感染を起こしやすく、普段、元気に暮らしている方でも、持病の悪化や、体調不良などをきっかけに、感染する可能性のある病気なのです。肺炎が重症化すれば、死に至ることもあります。

また、日常でかかる肺炎の原因菌で最も多いのは、「肺炎球菌」です。

●肺炎を起こすしくみ



肺炎予防のために、できることがあります

まずは、肺炎の原因菌となる細菌やウイルスが、からだに入り込まないようにすること。そのために、予防の一環として、ぜひ習慣化しておきたい事柄があります。

- ・うがい、手洗い、歯磨き、マスクの着用といった毎日の感染予防をする
- ・体の免疫力を高めるため、早寝早起きといった規則正しい生活をする
- ・予防接種を受ける

これらの事柄を意識して日々の生活をおくりましょう



(綜成苑 総務部看護師 石橋 由美子)

給食室だより ニ栄養士からのメッセージニ

年末年始、なにかと忙しい時期ではありますが、新年を迎える日本人にとって欠かせないものといえば「おせち料理」です。

おせち料理の肴の品々におめでたい意味があることは皆さんご存知だと思いますが、単に縁起をかつくだけでなく、栄養価の高さやバランスの良さも抜群です。

今月はおせち料理について、少しご紹介します。

おせち料理の特徴、まずひとつめは「日持ち」することです。正月は五穀豊穡と無病息災の神様「年神様」が家にやってくる季節。そのため、煮炊きを控えて物静かに出迎える意味で日持ちする料理が尊ばれたそうです。

ふたつめの特徴は「おめでたい」こと。鯛は「おめで鯛」などの語呂合わせ、かまぼこは半円が初日の出を連想させ、海老は腰が曲がるまで長寿となるように願いが込められた「見た目」による縁起かつぎなどさまざまです。そもそもおせち料理の器となる「重箱」も祝い事が重ねてやってくるように、という意味があるそうです。

現在ではお正月といえどもコンビニは通常通り営業し、おせち料理以外の食べ物も簡単に手に入るようになりました。しかし、おせち料理は日本人としてお正月にはしっかり食べて頂きたいと思います。一年の計は元旦にあり。健康の計も元旦にありです。



(綜愛苑 総務部栄養士 田中 美保)